

2005年（平成17年）12月13日

毎日新聞5面

## 少子化対策に「地方の知恵を」

猪口邦子少子化担当相「写真」が全国の都道府県知事と少子化対策について意見交換する「全国行脚」を18日に開始する。猪口氏は初の専任少子化担当相として独自色を出そうと張り切っており、知名度を利用し国民の関心を引く作戦だ。

「少子化対策の推進には地方自治体との連携が極めて重要」と猪口氏自ら発案。来年5月まで全国を約10地区に分けて回



### 猪口担当相 全国行脚へ

り、少子化の現状や取り組み、国への要望を聞き取り、政府の施策に反映させる意向だ。初回の18日には熊本市で九州8県の知事と会談する。

内閣府には少子化対策に使える予算が少なく、同府幹部も「独自施策を打ち出すには限界がある」と漏らす。猪口氏は自らが乗り出すことで、予算以上の効果を上げたい思いがあるようだ。【葛西大博】